

<元気な西っ子 朝食ぱくぱく大作戦！>

活動の名称 **ぱくぱく週間**

団体等の名称 **人吉市立人吉西小学校**

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
- 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
- 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）
- その他（

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

平成22年度に行った朝食に関するアンケートにおいて、朝食を毎日食べているという児童が全児童の88%で、その中の約24%の児童がごはんやパン1品のみの朝食をとっていることがわかった。

そこで、朝食調べの結果を学級通信や食育便り等で知らせ、家庭への啓発を図ることをとおして、児童の朝食や食に対する意識を高め、朝食をきちんと食べようとする実践力を育てることを目的として「ぱくぱく週間」を設定することにした。

◆ 主な活動内容

6月、9月、2月の年3回、食育の日を含む1週間、毎朝朝食の内容をカードに記録する。1～3年生は主食・汁物・おかずに分けて記録し、4～6年生は赤・黄・緑の食品に分けて記録し、週間の終わりには児童自身が自分の朝食について振り返るようにしている。

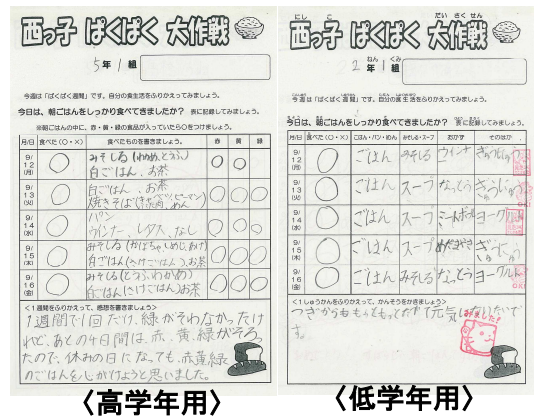
結果は担当者で集計し、学級の実態を担当に知らせるとともに、学校全体の朝食摂取の実態を食育便りを通して各家庭に知らせることで、保護者への啓発を行っている。

また、「ぱくぱく週間」に合わせて朝食標語や朝食メニュー作りで全学年で取り組み、給食集会において紹介や表彰を行っている。

◆ 活動の成果と今後の展望

開始直後は、児童の赤・黄・緑の栄養に関する知識も曖昧で、朝食欠食児童や食品数が1品のみという児童も多かったが、年3回毎年実施することで本年度の朝食摂取率は98%にまで上がってきている。また朝食の内容も、高学年になるほど栄養のバランスを考え工夫して食べたり、朝食作りに挑戦したりする児童も出てきている。保護者の方にも年々理解していただけるようになり、**栄養のバランスを考えた朝食**を準備してくださる家庭も増えてきた。

今後は、朝食欠食児童ゼロを目指して取組を続けていきたいと考えている。



9月のぱくぱく週間の結果より

朝食を食べた	98.0%
バランスよく食べた	35.4%
朝食を食べなかった	1.8%
バランスよく食べなかった	30.2%



給食集会で児童が考えた朝食メニューの紹介